

たっちゃん池の通信

2020年12月20日

vol. 135

冬支度オーライ
号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

かっぱの楽校 生き物講座 第105回



◀右の大きなヤゴ(幼虫)
がオオヤマトンボ

「生きもの講座」は
100回連載を記念し、
表紙ページでお届け
しています。

たっちゃん池のヤゴ

先日、狭山公園のたっちゃん池（宅部池）でかいぼりが行われました。池の中の生き物たちをみんなで救出しましたが、たくさんのヨシノボリ類などの魚たちに混ざって、大きなヤゴも何頭か捕獲されました。学校プールで見られる細長いギンヤンマやアカトンボのヤゴと違い、丸っぽくて足の長い、まるで大きなクモのような姿です。これはオオヤマトンボと言うトンボのヤゴなのでした。

オオヤマトンボは北海道から沖縄南西諸島まで、日本の端から端まで分布し、大きめの開放的な池沼に比較的普通に見られます。しかし、オオヤマトンボのことは、一般にはほとんど知られていません。成虫は春から秋まで見られ、池沼の岸沿いにぐるぐるパトロールしていることが多いのですが、全長8～9 cm と大きく、黄色いラインが目立つ黒っぽい姿が、オニヤンマと間違われていることも多いでしょう。

ヤゴとして過ごすのは2～3年と言われており、幼虫の最後の段階の終齢幼虫で越冬し、4 cm程とかなり大きくなります。今回捕獲され

たのも終齢幼虫ばかりでした。普段は泥底に潜んで餌を待っているのに、底生魚のヨシノボリ類が多いたっちゃん池は、餌に恵まれた住み良い環境となっているのでしょうか。(ビー永島)

報告 宅部池(通称たっちゃん池)で「かいぼり」を実施

12月12日(土)に都立狭山公園宅部池にて「かいぼり」が実施されました。2010年11月、2016年1月に続き3回目となりますが、私は宅部池では今回が初めての参加でした。コロナ禍への配慮から、主に過去の参加団体の皆さんが運営受託者NPO birthの元に参集し、総勢70名ほどでの作業となりましたが、北川かっぱの会からも関係者を含め17名が参加いたしました。

当日は朝から太陽が出て気温が上がってくれたので、池の水の冷たさを気にせずに捕獲作業に臨む事が出来ました。前回見学者エリアからは、結構大きな魚が捕獲されている様子を見たのですが、今回捕獲された生物は大きさ、数ともに少な目だったようです。前は捕獲されていたオオクチバスなどの特定外来種が今回は見られ無かったのですが、その事がどれだけ捕食対象となっていた在来種の数に影響したのかは、後日分析発表となる数字を見るまでは解りません。

水位が下がるにつれて泥に潜っていた外来種のウシガエル(成体・幼生)やアメリカザリガニが次々と捕獲され、かいぼりの目的の一つになる駆除の有効性も実感出来ました。泥に潜っていたドジョウなどが出て来ると、厚く堆積した泥に挑戦して捕獲しようとする強者もありましたが、宅部池の泥は予想以上で、救出用浮き輪の出番になっていました。

今回捕獲された生き物は、アメリカザリガニ・フナ・ヨシノボリ属・ウシガエル・テナガエビなどのエビ類・カワニナなどの貝類・トンボヤゴ等10種類以上です。他にもその場で同定するのが困難な動植物が多数あり、具体的な種類や捕獲数などは分析発表をお待ち下さい。この後45日間の池干しを通して池の底にも十分太陽光を当て、2月以降には新たに透明度の高い池として蘇る事でしょう。(久野稔晃)

▼すっかり干上がった池



▼泥との戦い



報告 北山小4年生総合的な学習・川そうじ

北川かっぱの会では10月22日の授業を担当し、子どもたちに川そうじを体験してもらいましたが、その感想文が届きましたので紹介します。

ぼくは北川の掃除をして、少しの範囲だけであんなにたくさんのごみが取れて、びっくりしました。最初はもっと、ごみの量が少ないと思っていました。中にはとても大きなごみがあって、そんなものを捨てることはいけないことだと思いました。今後は北川を大切にしたいです。

私は、一人ひとりがごみを一つでも捨てたらどんどんごみが増えると思いました。一人が捨てているところを見たら、注意してよびかけるといいと思いました。なので、自分は絶対にごみを川や道路に捨てないようにしようと思いました。

僕は北川のごみ拾いをして、ごみが多いと思いました。いろいろなごみの種類があって、危ないごみ、大きいゴミなどすごくありました。今回の学習で考えさせられたことは、ごみをすてるときれいな川でも、あつという間にきたなくなることです。今の北川の状態を身をもって知って、貴重な体験をしたと思いました。

僕は北川の掃除をして、北川にごみを何で捨てるんだろうと思いました。川にごみを捨てるなんてひどいと思いました。もう一つは北川にはこんなにごみが落ちているんだなと思いました。これからも北川のごみを拾って、北川をきれいにしていきたいです。

私は北川には、たくさんのごみが捨てられていて、魚が食べてたくさん魚が死んでしまったんだと実感しました。その川をきれいにしているかっぱの会に本当に感謝でいっぱいです。私たちは、自分たちの自然は、自分たちで守っていき、たくさん魚を救っていきたいです。目の前で北川にごみを捨てている人がいたら注意をして、この豊かな自然を守っていきたいです。

報告 市主催環境フェアに出展

11/18～21まで中央公民館で開催された「東村山市環境フェア」(主催：東村山市環境・住宅課)に参加しました。環境フェアとは、市内の環境系のNPOや市役所関係各課の普及啓発活動の展示です。かっぱの会では「北川かっぱの会について」「外来生物とは?」「北山公園のカエル」

などのパネルを出展しました。恒例の空堀川に清流を取戻す会による水樺展示や市内の小学生が描いた環境ポスター、環境・住宅課によるアライグマやハクビシンに対する取り組みなども目を引いていました。(じんだんぼ)



北川かっぱの会の原点（第4回）北川かっぱの会が誕生した頃

「北川かっぱの会」が誕生したのは、「北山公園再生計画」（前号で紹介）の問題が一段落した1995年でした。この再生計画に対して反対運動を行ってきた「北山公園連絡会」のメンバーには強硬派（あくまで戦いの戦術を重視する派）と話し合い派（あくまで話し合いによって解決することを重視する派）がいましたが、この内の話し合い派のメンバーが中心となり北川かっぱの会が創設されました。

一方、市にとってもとりまく環境は変化していました。当時の全国的な市民参加の影響が東村山市にも及び、東村山市でも行政主導型の市政から市民参加型の市政へと変化しつつある時代でした。

北川かっぱの会が創設された時点で、会と市との一定の信頼関係は築かれていましたが、会創設後も双方が同じテーブルについて、環境保全のあり方について話し合いを行いました。その結果、1995年の創設以来、毎年、春と秋の「北川クリーンアップ（川そうじ）」や夏の「北山わんぱく夏まつり」を市の協力も得ながら、多くの市民とともに実施するようになりました。北川クリーンアップでは、市が参加者の募集や収集したゴミの後処理を受け持ち、市職員も一緒になって川そうじを行いました。川そうじ終了後に「豚汁」と飲物で関係者が語り合う場の設定もされました。

また、北山わんぱく夏まつりでは、実行委員会の一員として市職員が参加し、市が子どもたちのカヌー体験のために北川（市が管理）に仮設の堰を設置することやテントや椅子の提供などを受け持ち、市職員も一緒になって夏まつりを支えました。夏まつりは、前夜祭（映画上映）の他、当日のバンド演奏や踊りの披露、出店での飲食物販売など、それまで

の環境団体の活動方法の枠を大きく超えるものでした。

そして、トトロのふるさと基金委員会の活動がはじまり、阪神淡路大震災を契機としたボランティア活動の高まりもあって、川そうじや夏まつりへの参加者数はとても多い状況でした。北川かっぱの会の活動スタイル（参加者それぞれができることやって参加する、遊び心を持ちながら参加するなど）には、交流のあった当時の長良川河口堰反対運動の運動スタイル（後の吉野川河口堰反対運動も）が強く影響しています。

その後、市民活動団体と市とのパートナーシップ（協働）路線はさらに深化していきました。北川かっぱの会では、市民活動団体と市との定期的な懇談会の設置を望んでいましたが、1996年に市からの呼びかけにより「水と緑の市民懇談会」が開催されました。この懇談会では、市内で自然を守っていくことを目的とする4つの市民活動団体が結集し、意見交換や一般市民を募集した学習会などの内容で、その後約4年間にわたり開催されました。そして、1998年には市民活動団体側の提案による「緑の基本計画を考える市民会議」が発足し、市の緑政全般について、市と市民とが議論を行いまとめていくこととなりました。（ベジタ清水）



報告 今年の外来生物捕獲結果

北川かっぱの会では、2013年4月より北山公園しょうちゃん池とその周辺で、在来生物の脅威となっている外来生物の捕獲を行っています。今年は新型コロナウイルスによる感染防止のため、長期にわたり捕獲を休止した期間がありましたが、最終的には表のとおりとなり、ウシガエル（成体）63、ウシガエル（幼生）516、アメリカザリガニ779を捕獲しました。

8年間の推移を見ると、北山公園界限では、アカミミガメやクサガメの姿はほとんど見かけられなくなりましたが、最近では大量のウシガエルが捕獲される状況



です。11月14日の北山いきものクラブ終了後には外来生物慰霊祭（写真）を開催し、捕獲した外来生物の霊を慰めました。慰霊祭で改めて感じたことは、個々の外来生物が悪いのではなく、人間の勝手な所業により外来生物が放たれ、多くの在来生物が脅かされ、里山の生物多様性や景観に大きな悪影響を与えているということです。北川かっぱの会では、来年以降も在来生物の生息環境の改善と外来生物の捕獲に取り組んでいきますので、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願いします。

年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アカミミガメ	9	11	4	2	5	3	0	1
クサガメ(再捕獲を含む)	13	10	8	1	5	2	0	1
ウシガエル(成体)	2	1	3	42	106	44	53	63
ウシガエル(幼生)	10	24	約550	192	86	282	1137	516
アメリカザリガニ	99	126	約550	約760	1127	354	784	779

第九回 最終回・後編「まっかちん」

前回、アメリカザリガニを表す方言「まっかちん」の由来として、「真っ赤説」と「マツカーサー説」をご紹介しました。いずれにしても来日からほぼ100年で方言名までついて親しまれているアメリカザリガニですが、残念ながら「日本の侵略的外来種ワースト100」にも選定され、全国の水辺で大きな問題になっています。北山公園にも多数生息、同じ北米産のウシガエル、ミシシippアカミミガメ、ブラックバスと合わせ現在かっぱの会では防除活動をおこなっています。

アメリカザリガニが引き起こす問題は、まず旺盛な「生命力」にあります。動植物の生死を問わず食べてしまう雑食性、捕まえたバケツの中でも交尾し1匹のメスが500個前後産卵、小さなザリガニに育つまで尻尾の内側で守る繁殖力、畦に穴を開け水生植物を切断、生息に適した泥沼に作り変えてしまう環境適応(改変)能力。これらが在来の自然環境にとっては大きな脅威となっています。

そして最近問題視されているのは、今回のテーマでもある「日本人への浸透度」。防除

活動中「ザリガニまで駆除するの?」とよく言われます。私たちいきもの好きも幼い頃から「まっかちん」に親しんできました。学校では教室で飼育することもあります。何より強くてカッコいいので子どもにも大人気!そのため悪影響よりもまず親しみを感じてしまい「駆除」という考えに至り辛いという状況が形成されているのです。これが生命力と並び、駆除を困難にしている理由となっています。

多くの外来種は親しまれたり頼りにされたり、経済活動など人間の都合に翻弄されてきました。問題の原因を作ったのはあくまで人間です。この様な状況が今後少しでもなくなる様、活動していきたいと思えます。

さてこのコーナーでは、私が身近な人たちから直接聞いた方言の中のいきもの8種類を紹介してきましたが、東村山市郷土研究会が編纂した『東村山とその周辺のことば』には、まだまだ沢山のいきものや自然を表

す言葉が掲載されています。ぜひご覧いただいて、昔の東村山の人たちが、どんな風に自然を感じていたのか、思いを馳せていただけたらと思います。ありがとうございました。(じんだんぼ)



報告 北山いきものクラブ

11/14(土)で今年の北山いきものクラブは終了しました。6回を予定していましたが、1回から3回までは新型コロナ禍で中止。4回は雨天中止。まつりの中で北山いきものクラブの形式で参加予定だった、菖蒲まつり、北山わんぱく夏まつりも中止。これじゃ、おはなしになりませんわ。

そんな中でしたが、最終回に東大和から北山公園にたどりついたという小学4年生がいました。背中に「釣迷人」と大書されたシャツを着て。魚のことを実によく知っ

ていて、当会Sさん以外ではまったく相手にならんという・・・。迷人はナマズに惹かれて来たらしいのですが、たしかに今年の北山公園、ナマズをみるが多かったような気がします。北川から北山公園にナマズが上がってくる有力説(自説)を披露してくれました。迷人、また来年もこいよー。(はんべえ)



2021年1月～3月 活動スケジュール

ホ は **ホ**ランティア募集 の略、**会** は会員のみの略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止の観点から以下の活動予定については今後、中止となる可能性がありますので、

「かつぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ **ホ**

3月以降の毎月第2土曜 9～11時

3/13(土) 集合:北山小正門前

川端会議 2/20(土)10～12時

市民センター。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。誰でも参加可能です。

北山小土曜講座 野鳥観察会 **ホ**

1/16(土)9～11時八国山と北山公園 雨天延期(1/17、2/6)

野鳥観察会 2/27(土)AM(みどりの楽校+八国山たいけんの里主催)

かつぱ定例会

1/16(土)13～15時 2021年の活動方針、4月頃までの活動の詳細などについて検討(廻田公民館)。

2/6(土)13～15時 2021年の活動方針について検討(中央公民館を予定)。

総会3/6(土)13:00～15:30
開催予定

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

毎月第1日曜 9:00～
第3土曜、第3水曜 13:30～
畑こて維持管理作業と収穫と落葉かき

会費納入のお願い

今回、今年の会費について未納の方には振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費の振込をお願いいたします（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。「支援会員（主にカンパで支援していただける方が対象で、2年間で2000円（学生は1000円）」としてご支援をいただくことも大歓迎ですが、現在一般会員（年間3000円）の方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。振込用紙の該当欄にご記入をお願いいたします。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp 吉田あてご一報いただけますと幸いです。

ご寄付に深謝

生き物クラブのとき、カンパいただきました。ありがとうございました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

- 会費 一般会員：年間3000円
支援会員：2年間で2000円
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

- 問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

（普）3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

- かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 久々のかいぼり。魚の量が初回に比べれば大変に少なかった。でも裏を返せば、かつてはブラックバス、コイの養魚池になっていた証かもしれない。身勝手な人の手で。（遊星歯車）

- 発行：北川かっぱの会
連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp

